

# 水おと



ごあいさつ



能登川地区文化協会  
会長 中嶋芳正

地域の皆さんには、当協会の推進に深いご理解と温かいご支援をいただき、厚く御礼を申し上げます。

長引くコロナ禍からアフターコロナへと変わり、徐々にではありますがあ常生活が戻ってまいりました。

奇縁にも、今年の甲辰という干支は「ものごとが成長し、活力あふれる年」という意味を持ちます。それを実現していくのは私たち一人ひとりの力であり、昇り龍のごとく美しい花を咲かせ、身を結ぶ1年といたしましよう。

とりわけ「文化祭」は小さな子どもから大人まで、1年の努力を発表する素晴らしい場であり、多くの芸術文化と出会いつながる絶好の機会でもあります。65年の歴史を感じることができ、そんな本番を迎える、そんな感動を味わいにご来場ください。

結びに、皆さまの意欲や培われた知識、技能を活力ある地域づくりにいかしていただき、幸いです。

No.32

令和6年4月発行

# 第65回 能登川地区文化祭

- 菊花展 10月30日(月)～11月5日(日)
- 歴史講話、囲碁・将棋大会、青少年育成大会 11月4日(土)
- 作品展示 11月4日(土)～11月5日(日)
- ダンスパーティー 10月28日(土)

お茶席が4年ぶりに復活し、すべてのイベントがコロナ前に戻りました。文化協会加盟サークルからは、合計31サークルの参加がありました。



お茶席 なつめ会

囲碁・将棋大会  
能登川囲碁クラブ・日本将棋連盟能登川支部

ダンスパーティー ステップのと川



## 令和5年度 能登川地区文化協会文化公演会

ぼけますからよろしくお願ひします ~おかえりお母さん~  
映画上映 & 信友直子さん講演会

日 時 令和5年7月29日(土)

場 所 能登川コミュニティセンター ホール 来場者 約320名

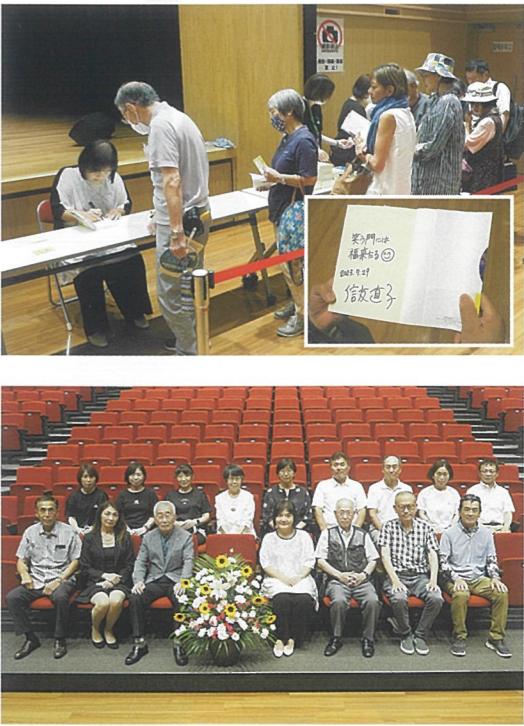
コロナも5月に5類に移行されたこともあり、今年度は定員をホール定員とし、300名を超える多くの方に鑑賞いただきました。

前半は2年前に文化公演会で上映した映画の続編「ぼけますからよろしくお願ひします～おかえりお母さん～」の上映、後半は映画の監督であり娘である信友直子さんに「認知症が私たち家族にくれたギフト」と題する講演がありました。

1作目で語られた老老介護の現実、遠くで働く娘としての思いを織り交ぜながら、今回は認知症で寝たきりになった母とそれを支える父との夫婦の絆、そして母の看取り・・・

看取りという重い内容でありながらもなぜか温かい気持ちになる信友直子さんのお話に、参加者皆さんがそれぞれの立場で家族の在り方を再度考えさせられたことと思います。

終演後には信友直子さんのサイン会と著書の販売もあり好評でした。酷暑の中、駐車場の整理等にご協力いただいたスタッフの方々、ありがとうございました。



# のとがわ水車太鼓 25周年コンサート開催



日時：令和5年3月12日(日)

場所：能登川コミュニティセンターホール

平成9年に商工会活動で産声をあげ、あっという間に四半世紀を迎えました。長いようで短かった25年間、たくさんの方々の暖かい応援で充実した活動を続けて来ることができました。ご支援いただいた多くの皆さんに心から感謝を申し上げます。

## サークル紹介

### のとがわ魔術会



今年で結成14年目になります。60～80歳代までの紳士淑女で和気あいあいと楽しく活動しています。文化祭にも出演し、日頃の成果を披露しています。

### 朗読サークル「ひだまりの会」能登川教室



令和6年3月31日(日)に朗読サークル「ひだまりの会」30周年記念発表会を能登川コ ミセンのホールで行います。ご興味ある方は是非お越しください。

### ①活動のねらい

文化活動を振興して市民の心身の健全な育成に努め、明るく豊かな市民生活の創造をねらいとする。

### ②おもな事業

- サークル作品○ビー展示
- 文化公演会
- 市民向け体験教室の開催
- 能登川地区文化祭
- 会報「水おど」発行

### ③ご案内

地域で文化活動をされている団体（サークル）は自由に能登川地区文化協会に加入することができ、サークル間の交流や日頃の活動成果の発表を行っています。地区文化協会に入ることにより、芸能発表会や文化展、研修会として行われる講演会などに参加することができます。また、市内社会教育施設などの使用料の減免が受けられます。

ご加入をお待ちしています。

- 年会費：一団体 3000円
- 申し込みなど 詳しいことは
- 能登川地区文化協会事務局（能登川コミュニティセンター内）
- TEL 0748-42-3200
- FAX 0748-42-3222
- IP 050-5801-3200

## 編集後記

編集委員3年目を迎えました。これまで何気なしに見ていたチラシやポスター、看板も「どんな人のアイデアかな」と気になるようになり、素敵なかつらに「我が町にもいいんじゃない！」とときめくようになりました。

能登川に住んで23年、サークルや協会の活動を通して